



# パラアーチェリー クラス分けについて

JAPAN PARA ARCHERY FEDERATION (JPAF)

一般社団法人 日本身体障害者アーチェリー連盟

2024年1月20日 福岡 指導者研修会

<JPAF クラス分け委員会>

# クラス分け？

クラス分けってなに？

- ▶ 障がいには、さまざまな種類や程度があります。それらが競技結果に影響しないよう同程度の障がい者で競技グループを形成することを

**「クラス分け／  
Classification」**

クラス分けの実際

## 1) 障がいの確認

- ▶ 参加が認められている障がい種類か？
- ▶ 参加が認められている障がい程度か？
- ▶ 障がいが永続的か？

## 2) 公平に競うためのグループ作り

- ▶ 同程度の障がいのある選手同士で競い合うことができるようにグループを作る。

## 3) 補助用具等の使用許可と確認

# クラス分け？

- ▶ 国際パラリンピック委員会が定めている

「国際クラス分け基準／IPC Classification Code」

に準じて、各国際競技連盟、国際障がい者団体によってクラス分け規則が定められています。

- ▶ クラスを持っていないければ大会に出場し、**記録を公認してもらうことは出来ない**。出場前にクラス分けを受ける必要がある。

# パラアーチェリー競技大会への出場要件を満たす 障がいの種類

以下の身体障がいのみに関する医学的診断を、パラアーチェリーで適用される障がいと認定している。

- 筋力障がい
- 他動的関節可動域障がい
- 四肢欠損
- 筋緊張亢進
- 運動失調
- 視覚障がい

# 健康状態

選手の健康状態または障がいに、**出場要件を満たす障がいが見られない場合**、その選手はパラアーチェリー競技大会の出場要件を満たしていないとみなされる。

...以下は、出場要件を満たさない健康状態の例

- 主に痛みを引き起こすもの
- 主に疲労を引き起こすもの
- 主に過剰運動または筋緊張低下を引き起こすもの
- 主に精神的または心因性が原因のもの(例:転換性障害、心的外傷後ストレス障害)

※クラス分けルールに則って出場要件を満たしていないと判断されたことが、必ずしもその人物に障がいがないという意味ではない。

その各自の症状が世界アーチェリー連盟の定める基準に適合していないことを意味する。

	オリンピック	パラリンピック	全国障害者スポーツ大会
主催	IOC＋主催国	IPC＋主催国	日本パラスポーツ協会 ＋主催県・市
ルール	WORLD ARCHERY	WORLD ARCHERY	全日本アーチェリー連盟 全スポ
派遣(推薦)	全日本アーチェリー連盟	日本身体障害者 アーチェリー連盟	所属県・市
使用弓	リカーブボウ	リカーブボウ コンパウンドボウ	リカーブボウ コンパウンドボウ
距離	70m	RC……………70m CP、W1…50m	50m・30m 30mW
出場	誰でも出場可	身体障害者かつ クラス分けで承認	身体障害者手帳所持者 (肢体不自由、聴覚障害、内部障害)
補助用具を使う 場合	クラス分けカード 必要	クラス分けカード 必要	競技上必要であれば使用可
メダルマッチ	個人男・女 各1 団体男・女 各1 団体MIX 1	W1男・女 各1 RC男・女 各1 CP男・女 各1 MIX 各1	RC男・女 8区分各1 CP男・女 2区分各1

(中略)

# クラス分けを受けていない人を指導するとき気を付けてほしいこと

- ▶ 安全が第一！ですが・・・
- ▶ 例えば普段車いすを使用している方も、競技中の使用が許可されるとは限りません。
- ▶ 補助用具を使わなくても行射できないかどうか考えてみてください。
- ▶ 車いすを使用している方は、スツールで行射できないかどうか
- ▶ ボディストラップを使用している方は、側方支持物で対応できないかどうか
- ▶ 車いすの背もたれが高い方は、座面を高くしてみても行射できないかどうか
- ▶ 足の痙性が出る方は、フットレストの高さや角度を調整して軽減しないかどうかなど

# クラス分けは安全で公平な競技を可能にするためのものです

- ▶ 補助用具が障がいの度合いに合っていないと判断した場合は、使用を許可しない、もしくは使用を推奨する場合があります。
- ▶ すでにクラス分けを受けている方でも、体の状態に変化があった、補助用具を変更したい、というときはクラス分け委員会にご連絡ください。

## クラス分けに関する連絡先

- ▶ [jpaf.classification@gmail.com](mailto:jpaf.classification@gmail.com)